

# 大山の森だより

2023年夏号

## ○国立公園とは

「国立公園」とは、自然保護の目的で国が指定している公園です。大山は日本の景勝地の中でも特に優れた場所として、1936年に「国立公園」に指定され、1963年に蒜山、島根半島、三瓶山、そして隠岐地域が編入されて大山隠岐国立公園になりました。さらに2002年には毛無山、宝仏山地域、2014年には三徳山地域が編入されました。

国立公園内では、貴重な景観や自然を守るために様々な行動が規制されています。

公園の趣のある風景を維持する地域を特別地域と言い、用途に応じて、第一種から第三種に区別されています。現在の景観を極力保護することを目標とする第一種特別地域でも、特に重要な地区を特別保護地区と言い、大山のおおよそ標高1000メートル以上が特別保護地区に指定されています。

新型コロナウイルス感染症が沈静化し、大山に賑わいが戻ってきました。国立公園は、自然についての知識を深めたり、健康増進やレクリエーションのために自然とふれあうところでもあります。日本を代表する美しい自然を日本の宝として未来に引き継ぐために、皆様のご協力をお願いします。



### 春期 自然ふれあい事業 活動報告

#### ○大山寺金門周辺の知られざる遺跡を巡る

開催日:4月23日



当日は素晴らしい天気  
で、遺跡がある春の森を  
気持ちよく歩くことができ  
ました。金門の上にある  
遺跡にはロープを使って  
到達。普通ではいけない

場所への冒険を楽しみました。

#### ○自然観察とオルガニート演奏会

開催日:5月20日



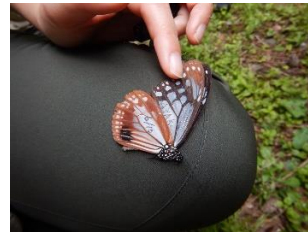
大山寺の森の中を散策、  
植物の花から花言葉を当  
てるゲームをしながら、花  
の構造や葉の形などをじ  
っくり観察しました。最後  
に参加者が手回しオルゴ

ール「オルガニート」を演奏しました。

#### ○樹水高原 旅する蝶「アサギマダラ」観察会

開催日:6月10日

「アサギマダラ」の移動ルート調査を兼ねたイベント。25度を超える暑さで、数は多くありませんでしたが、森の小径に時々現れるアサギマダラを捕獲しマーキングしました。



■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。

裏面にイベント情報を掲載しています。

# 大山の外来植物(侵略的外来種)



大山隠岐国立公園の大山蒜山地域では貴重な在来植物を守るため、貴重種の持ち出しを禁止するだけでなく、特定の外来植物の除去を行っています。

特に集中して除去を行っているのは、下記の3種です。

## オオキンケイギク



北米原産のキク科の多年草で、高さは30~70センチ程度になります。5~7月にかけて黄色のコスモスに似た花を咲かせ、強靱でよく生育することから、かつては工事の際の法面緑化に使用されたり、園芸用に苗が販売されたりしていました。しかし、あまりに強く、いったん定着してしまうと在来の野草の生育場所を奪い、周囲の環境を一変させてしまうため、平成18年(2006)に外来生物法に基づく特定外来生物に指定され、生きたままの運搬や栽培、譲渡などが原則として禁止されました。

## コラム:外来種とは

国際自然保護連合の定義では、外来種とは「過去あるいは現在の自然分布域外に導入された種、亜種、あるいはそれ以下のカテゴリを指し、生存し繁殖することができるあらゆる器官、配偶子、種子、卵、無性的繁殖子を含むもの」とされます。

外来種の中でも、移動先で分布拡大したときに、在来種の絶滅につながるおそれがあるなど、とりわけ生態系や人間の生活に大きな影響を及ぼすようなものを、とくに**侵略的外来種**(invasive alien species)といい、これらは侵入種と呼ばれることもあります。



## セイタカアワダチソウ



北アメリカ原産のキク科の多年生草本で、高さ0.5~3メートルになります。観賞用、蜜源植物として1900年頃に導入されたといわれますが、急に増えたのは1940年代以降です。河川敷、土手、荒地、原野、休耕地、路傍、空地などに生育し、森林内に生えることはありません。地下茎で繁殖し、根から強いアレロパシー物質を出して他の植物の生育を阻害しはびこります。開花期は8~11月で秋遅くまで黄色い頭状花をたくさん咲かせ、綿毛のついた種を大量にまき散らします。しかし群生して数年たつと自家中毒を起こして勢力が衰え、ススキの侵入を許すようになり、最終的にススキに駆逐されてしまいます。晩秋まで花を咲かせ、蜜を出すのでミツバチの冬越しのための餌として養蜂家には重宝されています。



## ブタナ



ヨーロッパ原産のキク科の多年草です。日本には1930年ごろに入ってきたようで、現在では全国で繁殖しています。開花時期は6~9月頃。外観はタンポポに似ています。30~60センチ程度の花茎が途中で数本に枝分かかれ、それぞれの頭に直径3センチほどの黄色い花をつけます。花茎に葉は付かず、地面から深い鋸歯のある幅広の葉をロゼット状に広げ、根を深く伸ばします。在来のタンポポとは違い自家受粉で種を実らせ勢力を広げていきます。たくさんのブタナが隙間なく群生し、さながら黄色い絨毯を広げたような光景は美しいですが、群生した地域では芝生が枯れてしまうなどの被害も発生するため、害草として駆除されることも多いです。ただし全部分が食用可能で、若い葉はサラダに、根はタンポポ同様に炒ってコーヒーの代用にできます。



## ○美しい侵入者「ソウシチョウ」

鳥綱スズメ目チメドリ科に分類される鳥類。外来生物法で特定外来生物に指定されており、「日本の侵略的外来種ワースト100」の選定種の1種です。

つがいのオスとメスを分けてしまうとお互いに鳴き交わしをするため、相思鳥の名がついたと言われます。ヒマラヤ西部から中国南部の山岳地帯に生息していますが、姿が美しく鳴き声がきれいなので古くからペットとして日本に移入され、1980年代に逃げ出したものが野生化し、北海道と沖縄を除く日本各地に広まったと言われています。

標高1000メートル以上の山地のささやぶを生息地としており、冬は標高の低い場所に移動します。大山では10年ほど前から普通にみられるようになりました。繁殖期は4～10月と比較的長く、産卵から巣立ちまでが1ヶ月以内であることから、年に複数回繁殖している可能性があります。そのため早春から晩秋まで美しいさえずりを聞くことができます。現在まで本種が定着したことによる影響はとくに確認されていませんが、営巣場所が競合するウグイスやオオルリが駆逐される危険があります。



## 大山の特別保護地区

大山のすばらしい自然はたくさんの人をひきつけます。美しい草花を大山の思い出に持ち帰りたくてしまいがちですが、ちょっと待ってください。大山は国立公園です。国立公園内では指定動植物、特別保護区では全ての動植物の採取・損傷が自然公園法で禁止されています。罰則第83条で、「6月以下の懲役または50万円以下の罰金」となっています。

大山隠岐国立公園では、308種類の植物が指定植物として保護されており、大山蒜山区域にはそのうちの160種が生息しています。

国立公園で一番規制が強いのが特別保護地区です。ここでは指定植物はもちろん指定外の植物、動物、さらには落ち葉や石さえも持ち帰ることが禁止されています。

大山の特別保護地区はおおむね標高1000メートル以上にあり、登山客以外は近づけない場所にあります。景勝地である鍵掛峠の環状道路から北側の斜面は特別保護地区に入ります。駐車場もあり散策しやすい場所なのでご注意ください。それと標高650メートルの船上山台地は特別保護地区です。国立公園は貴重な自然を保護する目的で指定された自然公園です。むやみに持ち帰らないようご協力ください。



### 「ゴミ持ち帰り運動」と「大山の一斉清掃」

国立公園内には基本的にゴミ箱が置かれていません。

自分の出したごみは各自で持ち帰りましょう。



また大山では毎年2回、春・4月第3日曜日、秋・10月第3日曜日に一斉清掃が行われています。コロナ禍から4年ぶりに開催された今年の春の一斉清掃(4月16日)には、550名の方が参加しました。

秋は10月21日に開催予定です。当日参加も可能ですよ。



# ーイベント情報（7月～9月）ー

## ■自然公園財団のイベント

<p>○南光河原 水生生物(カジカガエル)観察会 開催日: 7月1日(土) 9:00~12:00頃 会場: 南光河原周辺 集合場所: 自然公園財団事務所前 参加費: 1500円</p> 	<p>涼やかな鳴き声が初夏の南光河原で聞こえます。カジカガエルはなかなか姿を見るのが難しいカエルですが、声を頼りに探してみましょう。オタマジャクシは見つかりますよ。川の中も探してみましょう。 定員15名 <span style="float:right">自然観察</span></p>
<p>○西明院谷 自然観察とオルガニート演奏会 開催日: 9月9日(土) 9:00~12:00頃 会場: 阿弥陀堂周辺 集合場所: 自然公園財団事務所前 参加費: 1500円</p>	<p>秋の気配を感じながら、大山の森を歩きます。古い寺院跡では手回しオルゴール「オルガニート」を演奏。自然の中で優しい音楽に癒され、悠久の時と諸行無常を感じてください。 定員:15名 <span style="float:right">自然観察 癒しの体験</span></p>
<p>○秋の木の実草の実観察会 開催日: 9月23日(土) 9:00~12:00頃 会場: 寂静山・豪円山周辺 集合場所: 自然公園財団事務所前 参加費: 1500円</p> 	<p>秋は実りの季節。様々な植物が実(種)を結びます。実(種)は植物が命をつなぐ手段。植物ごとにいろいろな工夫が見られます。大山の森や草原でいろいろな実を見つけて観察してみましょう。 定員:15名 <span style="float:right">自然観察</span></p>

## ■大山入山協力金のお願い■

令和5年度も、登山道の補修、自然環境保護、トイレの維持管理等のために大山入山協力金を登山者の方にお願ひしています。※11月中旬ごろまで

登山1回につき**500円**

募金箱が、「大山頂上避難小屋内」と「大山ナショナルパークセンター1階」に設置されています。

ご協力いただいた方は、協力記念カード(写真の左)1枚をお持ちください。



1年に複数回登る方で、まとめて**3000円**をご協力いただける方は、

「頂上避難小屋売店」か「大山ナショナルパークセンター1階窓口」へお申し出ください。

記念品(年間パス:梨の木キーホルダー、写真の右)をお渡しします。

**【お問い合わせ】** 大山山岳環境保全協議会事務局 TEL:0859-31-9628 ✉seibu-kankyo@pref.tottori.lg.jp

※高校生以下の児童・生徒、ボランティアや公務で入山される方などは対象外です。

一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33

大山ナショナルパークセンター(大山 NPC) 1階

TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370

URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

